

令和6年度研修 評価

研修名	訪問看護従事者研修会（新任者編）全日程				
領域	訪問看護	会場	新潟県看護研修センター	受講料	会 員：17,600 円 非会員：52,800 円
対 象	募集数(30人)応募数(34人)参加数(34人)会員数(33人)非会員数(1人) 修了者 34人				
日 時	令和6年6月1日（土曜日）～11月16日（土） 9：30～15：30				
ねらい（目標）	1. 訪問看護に関連する制度や技術を理解、修得し、実践に活かすことができる				
講 師	<p>1 須田 真奈 新潟県福祉保健部高齢福祉保健課在宅福祉班</p> <p>1 大貫信太郎 新潟県福祉保健部地域医療政策課地域医療整備室</p> <p>1 古川総一郎 センター病院訪問看護ステーション 訪問看護認定看護師</p> <p>2 丸山 径世 新潟市居宅介護支援事業者連絡協議会 会長</p> <p>2 伊部まりこ 独立行政法人国立病院機構西新潟中央病院 入退院支援室 看護師</p> <p>3 瀬崎 学 済生会新潟県央基幹病院リハビリテーション科 呼吸専門理学療法士</p> <p>4 佐々木祐子 新潟青陵大学大学院看護学研究科 教授</p> <p>5 布川 元子 たちかわ訪問看護ステーション 管理者 訪問看護認定看護師</p> <p>6・7 後藤清恵 独立行政法人国立病院機構新潟病院臨床研究部 臨床心理・遺伝カウンセリング研究室 室長 認定遺伝カウンセラー・臨床心理士</p> <p>8 布川 元子 たちかわ訪問看護ステーション 管理者 訪問看護認定看護師</p>				
内容・方法	<p>○講義 1日5時間 講義、グループワーク、演習</p> <p>○施設実習 調整した施設においてオリエンテーション、同行訪問、まとめ</p> <p>○eラーニング 受講者各自が自施設において動画受講、テスト実施</p>				
結 果	<p>○参加者数 34名 113.3% 【達成・未達成】</p> <p>○アンケート結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理解度 第1回:74.3% 第2回:73.5% 第3回:85% 第4回65% 第5回65% 第6・7回:15% 第8回:79% 【達成・未達成】 ・自己課題の達成度または研修目標（知識・技術）の習得度 第1回:63% 第2回:66% 第3回:82% 第4回:59% 第5回:74% 第6・7回:21% 第8回:76% 【達成・未達成】 <p>○受講者の意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域包括ケアシステムや社会保障制度、訪問看護の役割、地域の課題等を学ぶことができた。 ・内容が多すぎて学習が不十分な事もある。 ・専門性の高い内容ですぐには理解できない。 ・GWで周囲の意見も聞けて良い。 ・管理者に、eラーニング聴講や受講後レポート作成を就業時間内に確保してもらったり、拘束当番を調整してもらったりしてありがたかった。 				
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>評価基準： ①参加数が募集数の70%以上 ②研修内容の理解度（できた、ほぼできた）80%以上 ③自己課題の達成度又は研修目標（知識技術）の習得度（できた、ほぼできた）80%以上 ④アンケートの意見</p> </div>				

	<ul style="list-style-type: none"> ・全て自分の時間での受講となり、負担が大きかった。配慮が欲しかった。
評 価・総 括	<p>○目標達成の評価：【研修会の目標は達成した・達成しなかった】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケートから、各講義に対する満足度は高く、学びだけでなく今後の課題や訪問看護の役割の認識、今後活用できる等の意見も聞かれている。一方で講義内容によっては理解度や修得度が十分でない部分もあり目標は達成されていない。 <p>○総括 研修会開催の良かった点・改善点、今後の継続について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義と実習を通して、学びが実践になり、実践から理解に繋がっている。講義や振り返りの中でGWを取り入れる事で、学びの相互作用になっている。 ・一方で講義によっては、専門性の高い知識を含んだものや、時間に対して情報量が多いと感じたとの意見もあった。講義とGWを取り入れながら継続していく必要がある。
課 題	<p>○研修を継続する場合、研修内容に関する課題を記載する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義を設定するにあたり、取り入れてほしい内容や知識のレベル(基礎のみなのか、応用も含めてなのか)、講義方法等事前打ち合わせを念入りに行う。
担当者	訪問看護推進委員会